

第25回腰痛シンポジウム

25th LOW BACK PAIN SYMPOSIUM

主 題 腰痛症 最近の進歩

～難治性腰痛を含む各種腰痛にどのように対応するか～

第25回腰痛シンポジウム開催にあたって

担当世話人 久野木順一（日本赤十字社医療センター脊椎整形外科部長・脊椎センター長）

腰痛シンポジウムは本年度で第25回を迎えます。

第19回の本シンポジウムでは「腰痛症を見直す」をテーマに主に非特異的腰痛を対象に、メカニズムと対策、再発防止と自己管理に関する講演がなされました。その後の数年間においても腰痛に関する多くの分野で進歩がみられました。

生物・心理・社会的疼痛症候群としての腰痛、慢性腰痛、神経障害性疼痛と治療薬、椎間板性腰痛、脊椎矢状面アライメントと腰痛、腰痛関連因子の分野での理解が深まりました。また治療の目標として疼痛の軽減ばかりでなくQOLの改善についても重視されるようになってきました。

そこで第25回腰痛シンポジウムでは「腰痛症 最近の進歩 — 難治性腰痛を含む各種腰痛にどのように対応するか」をテーマとすることにしました。最近の進歩、獲得されたエビデンスと課題を整理し、複雑で多様な腰痛にどのように対応すべきかを少しでも明らかにしたいと考えます。

一般的には非特異的腰痛は85%程度とされていますが、腰痛を治療している多くの臨床医は、年齢、姿勢や動作、特に腰痛を悪化または改善させる姿勢や動作、スポーツの種目、脊柱所見、脊椎アライメント、新たなブロック法、画像所見などを総合して非特異的腰痛をより適切に治療しようと努力されていると思います。基礎的、臨床的研究の蓄積により、今後原因不明の非特異的腰痛は減少してゆくと思いますし、そのための努力を継続してゆくべきであると考えます。現時点では解剖学的な原因部位が特定できなくても、多方面からの適切なアプローチにより、非特異的腰痛のあるものは、より適切なcareが可能となると思われます。

本シンポジウムでは長年腰痛症の研究に携わり第一線で活躍されている先生方に、様々な腰痛に対し、より適切な対応とcareをするために必要な知識を講演していただくこととしました。いわゆる腰痛症に関する最近の進歩により、腰痛診療がどのように変貌しつつあるか、そして今後の課題についてもお話しいただけるものと期待しております。

◎開催日時：2014年(平成26年) 3月1日(土) 12:30～17:35

◎場 所：東京国際フォーラム「ホールB」
東京都千代田区丸の内3丁目5番地 TEL 03-5221-9000

*参加費として2,000円を当日受付にて申し受けます。

*本シンポジウムは日本整形外科学会教育研修会として認定(専門医、脊椎脊髄単位：計3単位)されています。

「2.腰痛症 最近の進歩」
受講必須分野([4][7] SS)

「3.各種腰痛への対応1 慢性腰痛
(心理・社会的腰痛を含む)最近の進歩」
受講必須分野([1][13] SS)

「4.各種腰痛への対応2
脊柱アライメント異常を伴う腰痛に
どのように対応するか」
受講必須分野([2][11] SS)

各1単位

N：専門医資格継続単位 必須分野

[1] 整形外科基礎科学

[2] 外傷性疾患(スポーツ障害を含む)

[4] 代謝性骨疾患(骨粗鬆症を含む)

[7] 脊椎・脊髄疾患

[11] 骨盤・股関節疾患

[13] リハビリテーション(理学療法、義肢装具を含む)

SS：脊椎脊髄単位

*受講料は1単位につき1,000円を当日受付にて申し受けます。

主題：腰痛症 最近の進歩

～難治性腰痛を含む各種腰痛にどのように対応するか～

12:30
～
12:35

1. 開会の挨拶

日本赤十字社医療センター 脊椎整形外科部長・脊椎センター長 久野木 順一

12:35
～
13:35

2. 腰痛症 最近の進歩

座長：東海大学医学部 外科学系整形外科学 教授 持田 譲治
医療法人社団元氣会 札幌整形外科 副院長 鑑 邦芳

1)「腰痛症 最近の進歩と課題」

札幌医科大学医学部 整形外科学 教授 山下 敏彦

2)「腰痛症 最近の進歩と腰痛診療ガイドライン」

福島県立医科大学 会津医療センター 整形外科・脊椎外科学 教授 白土 修

※パネルディスカッションを予定しています。

13:35
～
14:35

3. 各種腰痛への対応1

～慢性腰痛（心理・社会的腰痛を含む）最近の進歩～

座長：千葉大学大学院医学研究院 整形外科学 教授 高橋 和久

1)「慢性腰痛（心理・社会的腰痛を含む）最近の進歩と課題」

福島県立医科大学医学部 整形外科 教授 紺野 慎一

2)「慢性腰痛（心理・社会的腰痛を含む）へのアプローチと現場での対応」

関東労災病院 勤労者筋・骨格系疾患研究センター センター長 松平 浩

※パネルディスカッションを予定しています。

休憩

10分

(14:35～14:45)

14:45
～
15:50

4. 各種腰痛への対応2

～脊柱アライメント異常を伴う腰痛にどのように対応するか～

座長：慶應義塾大学医学部 整形外科 教授 戸山 芳昭

1)「高齢者の脊柱変形の病態と治療戦略：何をどのように治すのか？」

獨協医科大学医学部医学科 整形外科学 教授 種市 洋

2)「脊柱アライメント異常を伴う腰痛へのアプローチと現場での対応」

東京医科大学 整形外科学 講師 遠藤 健司

3)「骨粗鬆症関連の脊柱変形と腰痛—最近の進歩と対応（新鮮椎体骨折を除く）」

秋田大学大学院医学系研究科 整形外科学講座 准教授 宮腰 尚久

※パネルディスカッションを予定しています。

15:50
～
17:25

5. 各種腰痛への対応3

座長： 福島県立医科大学医学部 整形外科 教授 紺野 慎一
日本赤十字社医療センター脊椎整形外科部長・脊椎センター長 久野木順一

1)「椎間板性腰痛 最近の進歩と対応」

千葉大学大学院医学研究院 整形外科 講師 大鳥 精司

2)「アスリートの腰痛の病態分類と対処法」

早稲田大学スポーツ科学学術院 教授 金岡 恒治

3)「姿勢や運動方向により悪化・改善を認める腰下肢痛にどう対応するかーマッケンジー法を中心に」

岸川整形外科 院長 岸川 陽一

4)「リウマチ性疾患と腰痛 最近の進歩と対応」

JR東京総合病院 リウマチ・膠原病科 主任医長 萩原 清文

※パネルディスカッションを予定しています。

17:25
～
17:30

6. 総括

出席顧問

17:30
～
17:35

7. 閉会の挨拶

日本赤十字社医療センター脊椎整形外科部長・脊椎センター長 久野木順一

世話人

鑑 邦芳：医療法人社団元氣会 札幌整形外科 副院長
久野木順一：日本赤十字社医療センター脊椎整形外科部長・脊椎センター長
紺野 慎一：福島県立医科大学医学部 整形外科 教授
高橋 和久：千葉大学大学院医学研究院 整形外科 教授
戸山 芳昭：慶應義塾大学医学部 整形外科 教授
持田 譲治：東海大学医学部 外科学系整形外科 教授

顧問

金田 清志：北海道大学医学部 名誉教授
医療法人社団朋仁会 整形外科北新病院 顧問
菊地 臣一：福島県立医科大学 理事長兼学長、整形外科
辻 陽雄：富山医科薬科大学 名誉教授
平林 洵：慶友整形外科病院 名誉病院長
山本 博司：高知医科大学 名誉教授

(五十音順)

共催 腰痛シンポジウム
エーザイ株式会社

●販売開始年

- 2013** 創薬・処方せん医薬品・注意—医師等の処方せんにより使用すること
骨粗鬆症治療剤
日本薬局方 リセドロン酸ナトリウム錠
アクトネル[®]錠 75mg
- 2012** 創薬 処方せん医薬品^(注)
抗リウマチ剤
ケアラム[®]錠 25mg
イグラチモ錠 (注)注意—医師等の処方せんにより使用すること
- 2010** 処方せん医薬品・注意—医師等の処方せんにより使用すること
疼痛治療剤(神経障害性疼痛・線維筋痛症)
リリカ[®]カプセル
プレガバリンカプセル^(注) 25mg・75mg・150mg
PREGABALIN CAPSULE
製造販売：ファイザー株式会社／販売提携：エーザイ株式会社
- 2008** 生物由来製品 創薬 処方せん医薬品^(注)
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤
ヒュミラ[®]皮下注40mg
シリンジ0.8mL
<皮下注射用アタリムマブ(遺伝子組換え)製剤> HUMIRA
(注)注意—医師等の処方せんにより使用すること
製造販売(輸入)元：アボット ジャパン株式会社／販売元：エーザイ株式会社
- 2007** 創薬・処方せん医薬品・注意—医師等の処方せんにより使用すること
骨粗鬆症治療剤／骨ページェット病治療剤
日本薬局方 リセドロン酸ナトリウム錠
アクトネル[®]錠17.5mg
体外診断用医薬品
低カルボキシル化オステオカルシンキット
血清中低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC)測定用医薬品
ピコルミ[®]ucOC
<電気化学発光免疫測定法>
- 2002** 創薬・処方せん医薬品・注意—医師等の処方せんにより使用すること
骨粗鬆症治療剤
日本薬局方 リセドロン酸ナトリウム錠
アクトネル[®]錠2.5mg
- 1999** 経皮吸収型鎮痛消炎剤
フェルビナク[®]テープ70mg「EMEC」
(フェルビナク貼付剤)

エーザイ販売の主な 運動器疾患に 対する 治療薬・診断薬

薬価基準収載

検体検査実施料収載

- 1995** 骨粗鬆症治療用ビタミンK₂剤
グラケ[®]カプセル 15mg
<メナテトレンン製剤>
- 1994** 創薬・処方せん医薬品・注意—医師等の処方せんにより使用すること
組織活性型鎮痛・抗炎症剤
インフリー[®]Sカプセル 200mg
<インドメタシン フェルネシル製剤>
- 1984** 処方せん医薬品・注意—医師等の処方せんにより使用すること
末梢性神経障害治療剤
メチコバル[®]注射液500 μ g
<メコバラミン製剤>
- 1983** 処方せん医薬品・注意—医師等の処方せんにより使用すること
筋緊張改善剤
ミオナール[®]錠 50mg
顆粒 10%
<エペリソン塩酸塩製剤>
- 1981** 末梢性神経障害治療剤
メチコバル[®]錠 500 μ g
<メコバラミン製剤>

●効能・効果、用法・用量及び警告、禁忌、原則
禁忌を含む使用上の注意等については添付
文書をご参照ください。



「運動器の10年」世界運動
動く喜び 動ける幸せ

Eisai エーザイ株式会社

東京都文京区小石川4-6-10

製品情報お問い合わせ先：お客様ホットライン
フリーダイヤル 0120-419-497
9～18時(土、日、祝日 9～17時)

MO1302M01

